

## 【日航乗組】

	60才未満	再雇用
賃金	<p>(基本給)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年目 33万5000円～31年目以降 53万5000円(評価2)</li> </ul> <p>→32年目以降(一般職)毎年2000円加算</p> <p>(職責手当)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1年目 28万5600円～12年目以降 40万8000円</li> </ul> <p>注: 基礎額=基本給+職責手当+役職手当+(副操縦士)27万2000円/161</p> <p>→副操縦士役職手当: 訓練教官 58万円(補佐役 54万円)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延長手当: 予定時間超: 125%/時(変動給支払いの場合: 加算25%/時)</li> </ul> <p>注: 予定勤務時間に加算した就業時間のため大幅ディレイ以外は発生せず</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別就業手当: 総就業時間が(月147-166時間)超えた場合: 125%/時</li> <li>・深夜手当: 25%/時</li> <li>・変動給: 副操縦士 272000円/月(時間・LEG合計との多い方)</li> </ul> <p>→変動給(時間)単価: 5440円/時</p> <p>→変動給(LEG)単価: 2720円/30分</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・シミュレータ勤務手当: 13600円/日(変動給の対象外なら)</li> <li>・SIC(機長代行)手当: 700円/時(乗務時間の1/3)</li> <li>・年末年始手当(12/30-1/3): 5000円/日</li> </ul> <p>《管理職賃金運用規定》 (役職手当)</p> <p>変動給は併給しない</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・査察 88万円</li> <li>・飛行訓練教官 84万円</li> <li>・専任シミュレータ教官 44万円</li> </ul> <p>(変動給)</p> <p>機長 40万円</p> <p>→時間単価 8000円/時</p> <p>→LEG単価 4000円/30分</p> <p>(特定シミュレータ勤務手当)</p> <p>1暦日 2万円</p> <p>(基本給: 運航乗務管理職C等級)</p> <p>56万5000円から経験年数と評価により68万円に</p>	<p>《特別運航乗務員》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退職金は支給しない</li> </ul> <p>「諸手当算定基礎額」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務Ⅱ: 分母161を128に読み替え</li> <li>・勤務Ⅲ: 分母161を96に読み替え</li> </ul> <p>「月額固定額」</p> <p>(機長)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務Ⅰ: 111万1000円</li> <li>・勤務Ⅱ(8割勤務)88万8800円</li> <li>・勤務Ⅲ(6割勤務)66万6600円</li> </ul> <p>(副操縦士)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務Ⅰ: 70万7000円</li> <li>・勤務Ⅱ(8割勤務)56万5600円</li> <li>・勤務Ⅲ(6割勤務)42万4200円</li> </ul> <p>《シニアエキスパート運航乗務員(65才以上)》 特別運航乗務員と同内容</p>
勤務	<p>(就業時間) 超えて予定しない制限</p> <p>1暦月 175時間</p> <p>3暦月 495時間</p> <p>(乗務時間: 飛行時間)超えて予定しない制限</p> <p>連続7日間: -: 60時間</p> <p>連続28日間: 90時間: 190時間</p> <p>連続365日間: 960時間: - (年間平均就業時間)</p> <p>月間161時間→うるう年162時間 (特別就業手当の対象)</p> <p>大の月166時間、小の月158時間、1月と3月163時間16分、2月147時間28分を超える就業時間</p> <p>→ただし、うるう年の1月および3月164時間11分、2月153時間36分</p>	<p>《特別運航乗務員》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務Ⅰ 準用</li> <li>・勤務Ⅱ(8割勤務)</li> </ul> <p>休日: 1暦月14暦日</p> <p>年休: 年度16日</p> <p>就業時間: 1暦月140時間、3暦月396時間</p> <p>乗務時間: 連続28日間72時間、連続365日間768時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勤務Ⅲ(6割勤務)</li> </ul> <p>休日: 1暦月18暦日</p> <p>年休: 年度12日</p> <p>就業時間: 1暦月105時間、3暦月297時間</p> <p>乗務時間: 連続28日間54時間、連続365日間576時間</p>

<p>(乗務時間および飛行時間) 超えて予定しない制限  例：勤務開始時刻および着陸回数による予定制限  00:00-04:59=着陸 1-2 回 9+00-11+00 : 3 回  8+00-10+30 : 4 回 8+00-10+00  06:00-13:59=着陸 1-2 回 10+00-13+00 : 3 回  9+00-12+30 : 4 回 8+00-12+00  (マルチおよびダブル編成)  マルチ例：着陸回数および機内仮眠設備レベルによる  予定制限  着陸 1-2 回：クラス 1=1500-1700、2=1259-1600、  3=1259-1500  着陸 3 回以上：クラス 1=1500-1600、2=1259-1500、  3=1259-1400  (スプリット勤務)  連続 3 時間以上の休養施設の休養は飛行勤務時間から  減算できる  →シングル編成は休養時間の 1/2  →ローカルナイトを含み睡眠 8 時間以上、休養時間 10  時間以上は休養時間  (予定制限を超えた場合)  基地において 15 時間、以外 11 時間に以下を加算  →2 時間以上の時差あたり 30 分  →WOCL 含む 2 時間未満は 2 時間、2 時間以上は 4 時間  注：WOCL (Window of Circadian Low : 身体的低調期)  (日数制限)  国内線は連続 4 日 (DF のみ除く)、基地を離れる国際線  は 12 日間  (休養)  基地では 15 時間、以外は 1 時間以上  →時差と WOCL の加算も  (ローカルナイトを含む休養日) 3 時間を超える時差  例：時差 9-12 時間  勤務開始から日本で休養するまで 48 時間未満 : 3 日間  勤務開始から日本で休養するまで 96 時間以上 : 5 日間  (休日)  1 歴月 10 暦日  (スタンバイ)  連続 8 時間を限度  →終了後 8 時間の睡眠、10 時間の間隔で次の飛行勤務</p>	<p>時間  《シニアエキスパート運航乗務員(65 才以上)》  特別運航乗務員と同内容</p>
<p>他</p>	

【CCU】

	60 才未満	再雇用
賃金	<p>(基本給/月)  ・CA : 19 万 9000 円~30 万 5000 円(上限額)  ・シニア CA : 30 万 5000 円~37 万 5000 円(上限額)  ・リード CA : 30 万 5000 円~40 万 5000 円(上限額)  ・チーフ CA : 40 万 5000 円~53 万 5000 円(上限額)  →基礎額：基本給+役職手当/161  ・時間外手当 125%(週 40 時間超 25%)  ・深夜手当 25%  ・休日手当 135%  ・延長手当：予定時間超：125%/時(乗務手当支払い  の場合：加算 25%/時)  注：予定勤務時間に加算した就業時間のため大幅ディ  レイ以外は発生せず  ・特別就業手当：総就業時間が(月 147-166 時間)超え</p>	<p>《キャビンスペシャリスト(CS)》  ・定年時と同じ職位なら賃金は 2/3 程度  →低い職位を選択すると半分程度に  (定年時の等級で選択)  ・管理職/CH：前任、クラスインチャージ(国内小型  前任)、一般  ・LC/SA/BS：クラスインチャージ(国内小型前任)、  一般  ・AT：一般  (乗務手当)  ・前任業務：1800 円  ・クラスインチャージ(国内小型前任)：1400 円  ・一般：1100 円  (一時金は無し)</p>

	<p>た場合：125%/時</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドクルー<b>役職手当</b>(乗務手当は併給せず)</li> <li>→インストラクターC1：12万円</li> <li>→インストラクターC2：10万円</li> <li>→インストラクターC3：6万5000円</li> <li>・乗務手当/時</li> <li>→CA：1100円</li> <li>→シニアCA：1100円(国内線先任・クラスインチャージ1400円)</li> <li>→リードCA：1400円(国内線先任・クラスインチャージ1700円)</li> <li>→チーフCA：1400円(国内先任1700円、国内小型を除く先任2100円)</li> <li>・<b>年末年始手当</b>(12/30-1/3)：5000円/日</li> </ul> <p>参考《CA管理職》 グレードにより54万5000円から87万5000円に</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・契約更新時に<b>報奨金2カ月</b>(夏季一時金支給日)</li> </ul>
勤務	<p>(国内線：勤務予定上限)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1着陸：乗務9時間、勤務13時間</li> <li>・2着陸：乗務8.5時間、勤務13時間</li> <li>・3着陸：乗務7.5時間、勤務12時間</li> <li>・4着陸：乗務6時間、勤務11時間</li> </ul> <p>(国際線：勤務予定上限)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1着陸：勤務20時間</li> </ul> <p>(スタンバイ) 8時間を超えて予定しない</p> <p>(インターバル：基地)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・15時間以上</li> </ul> <p>→時差加算：3時間+加算7時間~9時間+加算19時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・離基地3-5日：24時間</li> <li>・離基地6日以上：48時間</li> </ul> <p>(インターバル：宿泊地)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・13時間以上</li> </ul> <p>→乗務時間加算：10時間+加算9時間~12時間+加算15時間</p> <p>→深夜時間(22-05)加算</p> <p>(月間休日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少なくとも月8日</li> <li>・国内全連続勤務後は休日2連続以上</li> </ul>	<p>(就業日数/休日を選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10割勤務：勤務243、休日123、有休20</li> <li>・8割勤務：勤務194、休日172、有休15</li> <li>・6割勤務：勤務145、休日221、有休11</li> </ul> <p><b>乗務スケジュールは4-2サイクル(固定休日5日)</b> →勤務基準は定年前と同じ (乗務時間制限)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・1カ月95時間、年990時間を超えて予定しない</li> </ul>
他		介護日・介護休暇などは定年前と同じ

【日航ユニオン】

	60才未満	再雇用
賃金	<p>(基本給/月) 整備技術一般職</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>→3等級：23万9000円~33万5000円(上限額)</li> <li>→2等級：33万5000円~42万5000円(上限額)</li> <li>→1等級：42万5000円~53万5000円(上限額)</li> <li>・時間外手当：基準額の125%</li> <li>→対象時間が月60時間超：加算25%/時</li> <li>・深夜手当：基準額の25%/時</li> <li>・休日手当：基準額の135%/時</li> <li>→<b>基準額</b>=基本給+シフト手当+整備確認主任者+整備マイスター/162</li> <li>・整備確認主任手当：10000円/月</li> <li>→2機種目以降5000円/月(特定資格3500円/</li> </ul>	<p>《シニアスペシャリスト契約(60才以降)》JALエンジニアリング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・退職金なし</li> <li>・時間外手当125%</li> <li>・シフト手当：3880~19400円/月</li> <li>→ナイト勤務を含む場合13580円を加算(確認主任者手当)</li> <li>・月1万円</li> <li>→ライン確認主任、機体確認主任：月5000円</li> <li>→2機種目以降：加算3500円/月</li> <li>・深夜手当：25%/時</li> <li>・休日手当：135%/時</li> <li>・年末年始手当(12/30-1/3)：5000円/日</li> <li>・呼び出し手当/回：08-22時1000円(22-08時2000円)</li> </ul> <p>《特別スペシャリスト契約(65才以降)》JALエンジニアリン</p>

	月) ・整備マイスター手当/月 →グレード 1=29100 円. 2=19400 円. 3=9700 円 ・シフト手当/月 3000 円(月 20 時間超 13000 円) ・呼出手当/回:08-22 時 1000 円(22-08 時 2000 円) ・年末年始手当(12/30-1/3) : 5000 円/日 ・出向手当 : 所定労働時間差 125%	グ →シニアスペシャリストと同じ
勤務		60 才以降《シニアスペシャリスト契約社員》JAL エンジニアリング ・普通勤務(週 5 日制) →実働時間 7 時間 52 分(休憩 1 時間) ・シフト勤務 : 月 160 時間 ・フレックス勤務 ・1 カ月単位の変形労働時間も (有休) ・週 5 日労働=年 20 日、週 1 日労働=年 3 日 →出勤率 2~8 割 ; 3~15 日/年 (所定労働時間) ・週休 2 日 ; 7 時間 25 分(休憩 1 時間) →シフト勤務 160 時間/月 (季節休暇) ・合計 3 日(4/1~12/31) (部分就労 : 日数/時間) ・事業所毎 : 100%. 90%. 85%. 80%. 75%. 70%. 65%. 55% 《特別スペシャリスト契約(65 才以降)》JAL エンジニアリング →シニアスペシャリストと同じ
他		《シニアスペシャリスト契約(60 才以降)》JAL エンジニアリング ・原則 1 年契約、更新も →出向も ・業務上、寮/社宅も 《特別スペシャリスト契約(65 才以降)》JAL エンジニアリング →原則 1 年契約、更新も上限は 70 才到達月末

【JGS 労組】

	60 才未満	再雇用
賃金	《グローバルエキスパート》基本給 (J3) 非役職 ・19 万 5000 円~20 万 8000 円 ・20 万 8001 円~22 万 8000 円 ・22 万 8001 円~26 万 3000 円 (J2) 班長職 ・26 万 3000 円~26 万 8000 円 ・26 万 8001 円~28 万 8000 円 ・28 万 8001 円~32 万 8000 円 (J1) 係長職 ・32 万 8000 円~34 万 8000 円 ・34 万 8001 円~36 万 8000 円 ・36 万 8001 円~39 万 8000 円 ・39 万 8001 円~40 万 8000 円 《エキスパート》本給+級職給 (本給)18 歳 10 万 450 円~60 歳 16 万 5440 円 (級職給)号俸	拘束 9 時間/日(実労 8 時間) 年間 1980 時間 休日 100 日/年 ◇シニアスペシャリスト(自社直接雇用) ・60 才から 65 才未満 →フルタイム勤務と部分就労「9 割. 8 割. 7 割」 ・月給制 : 基本給(時給×165 時間) →時給 : 1250-1500 円 ・シフト手当+技能手当 →基本給と技能手当(3000-6500 円)は勤務割合に応じた額 →シフト手当(月 3000 円+250-350 円:夜勤 1500 円/回)はフルタイムと同様 ・一時金 : 年度末に 2 カ月(所定労働 8 割未満は無し) ・退職金なし、契約特別一時金あり →評価加算(0-6 万円)は勤務割合に応じた金額

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非役職：73200円～91050円</li> <li>・班長：95360円～116360円</li> <li>・係長：121065円～175785円</li> </ul>	<p>◇シニアエキスパート(自社雇用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2023/11から65才-68才未満の「シニアエキスパート」雇用</li> <li>→フルタイム勤務と部分就労「9割.8割.7割」</li> <li>・時給制：1250～1500円/時</li> <li>・一時金；年度毎2カ月分(8割未満は無し)</li> </ul> <p>・一般職(事務職、諸手当なし)で60歳を迎えた人</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.基本給(242,290円)：59歳時点の57%</li> <li>2.基本給+高年齢雇用給付金：59歳基本給の67%</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・管理職で60歳を迎えた方</li> </ul> <p>年収で59歳時点の62%(高年齢雇用継続給付金含む)</p>
勤務	<p>《グローバルエキスパート・エキスパート》 (所定労働時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・月平均165時間</li> <li>・年間：現行1980時間→2026年1896時間</li> <li>・普通勤務：08:30-17:15(7+45)</li> </ul> <p>(年間休日)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準勤務：110日/年→段階的に120日</li> <li>・日勤シフト：105/年</li> <li>・夜勤シフト：99/年</li> </ul> <p>注：2026年114日(ナイト無120日) (年休)+夏季休暇3日 3カ月後10日→5年以上20日 (特定目的積立休暇)有給 30才から年5日まで限度40日 (永年勤続休暇)有給 勤続30年で5日 (フレックスタイム：普通勤務)2024/1 →年間1980時間(標準8+10/1日) →コアタイム11-14時(フレキシブル05-11時/14-22時) →時間外労働時間カウントは1週50時間超のみ (始業/終業の見直し：交代制勤務)2024/4 →DAY：始業03:00-11:59(早朝出勤：始業07:29以前) →SWING：始業12:00以降かつ終業02:00まで(深夜出勤：終業22:31以降) →NIGHT：始業23:00以前かつ終業05:00以降の2暦日勤務 (始業における準備時間：ロッカーから控室およびアルコール検査) →交代制勤務：東京5-15分、成田5-25分 →早着便は早出残業10分</p>	<p>◇シニアスペシャリスト (短時間勤務)休日数は同じ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9割：シフト勤務1782時間/年(平均148.5時間/月)</li> <li>・8割：シフト勤務1584時間/年(平均132.0時間/月)</li> <li>・7割：シフト勤務1386時間/年(平均115.5時間/月)</li> </ul> <p>(短日勤務)休日増</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・9割：D/S勤務129日/年(Night勤務123日/年)</li> <li>・8割：D/S勤務153日/年(Night勤務147日/年)</li> <li>・7割：D/S勤務177日/年(Night勤務171日/年)</li> </ul> <p>(有休) 勤務割合に応じて付与(週所定労働時間が30時間以上は年20日)</p>
他		<p>◇シニアスペシャリスト (スタッフトラベル) 正社員同等(部分就労は割合に応じ、50%未満は無し)</p> <p>◇シニアエキスパート(自社雇用)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スタッフトラベル：点数を引き継ぎ、2年目以降は正社員同等点数</li> <li>・特別休暇は定年退職前と同様</li> </ul>

【全日空乗組】

60才未満(2018年当時)	再雇用(最新2023.05.22データ)2024/4以降アップ回答あり
----------------	-------------------------------------

賃金	<p>(基本給/月) 本給 A(年齢給/48 才で頭打ち)+本給 B(経験年数/資格/定昇) →本給 A : 22 才 12 万 5731 円-48 才以上 19 万 9586 円 ・本給 B : パイロット訓練生で初任給、副操縦士昇格後は定昇表で昇給 →定昇額は 4 年、13 年で上がり、16 年から徐々に下がり、28 年で一定額に →機長:10574 円. 12498 円. 13462 円. 12498 円. 9614 円. 7691 円. 5767 円. 4807 円 注: 機長と副操縦士の定昇額は経験 15 年目まで同一</p> <p>(職務手当/月) ・資格別、経験年数で固定手当 機長 15 年、副操縦士 9 年で頭打ち(副操縦士は機長の 65%) →機長:76 万 500 円-85 万 8000 円(副操縦士:49 万 7250 円-52 万 6500 円)</p> <p>(変動付加手当/時間) ・変動付加手当の単価も資格別で月間 50-60 時間の前後で 3 段階 →機長 : 4875 円. 6050 円. 6550 円(副操縦士 : 3169 円. 3950 円. 4260 円) 注: 月間乗務 50 時間未満の場合、差額調整あり</p> <p>(特別勤務割増手当) ・1 回の勤務: 8 時間半(マルチ編成 11 時間)以上 →基本給+住宅手当+職務手当の 1/151 を単価に 135%/時 注: 3 カ月の合計が 453 時間を超えた場合、月毎と比較して多い方を適用</p> <p>(深夜勤務割増) 基本給+住宅手当+職務手当の 1/151 を単価に 35%/時</p> <p>(深夜変動付加手当) 50 時間以下単価の 35%/時</p> <p>(年末年始/土日祝出勤) ・年末年始 5000 円/日、1/1 は 6000 円 →土 400 円、5/1・12/29・日祝 1600 円</p> <p>(運航乗務員特別付加手当) 営業利益率と平均乗務時間で年度毎の手当</p> <p>(諸手当) 家族手当、住宅手当、世帯調整手当、土日祝出勤、年末年始労働、等</p> <p>(退職金) ・勤続年数と資格で年度毎のポイント加算、但し勤続ポイントは打ち切りあり</p>	<p>ライト型、ベーシック型、フレックス型、(アクティブ型)を選択する 注: アクティブ型は会社提案段階 →フレックス:月間休日 20 日と 11 日の組み合わせ 3 種類 = I は月間休日 20 日が年間 1 カ月、II は 3 カ月、III は 5 カ月 →アクティブ: 休日数(年間 132 日)以外は 60 才未満と同じ</p> <p>(嘱託料) 資格と選択した型による固定額(副操縦士は機長の 7 割) ・ライト: 機長 45 万 6000 円、副操縦士 31 万 6000 円 ・ベーシック: 機長 62 万 1000 円、副操縦士 43 万 7000 円 ・フレックス I : 機長 68 万 9000 円、副操縦士 48 万 4000 円 II : 機長 65 万 8000 円、副操縦士 46 万 2000 円 III : 機長 62 万 6000 円、副操縦士 44 万円 ・アクティブ: 機長 78 万 6000 円、副操縦士 55 万 2000 円 →ライトはベーシックの約 73% →フレックス: I 約 111%、II 約 106%、III 約 101% →アクティブはベーシックの約 126%</p> <p>(乗務関連手当) ・勤務手当: 機長 3000-5000 円/時、副操縦士 2000-3300 円/時 ・乗務手当: 機長 4875-6800 円/時、副操縦士 3169-4420 円/時 ・深夜勤務手当: 機長 2500 円/時、副操縦士 1750 円/時 ・深夜乗務手当: 変動付加手当×35%/時 ・特別勤務割増手当: 機長 6600 円/時、副操縦士 4620 円/時 ・乗務時間超手当 →3 カ月 250 時間超の時間: 機長 27700 円/時、副操縦士 18000 円/時 →1 回 6 時間超の時間: 機長 27700 円/時、副操縦士 18000 円/時</p> <p>(年末年始/土日祝出勤) ・年末年始 5000 円/日 →土 400 円、5/1・12/29・日祝 1600 円</p> <p>(特別功労金) ・1 年間の契約満了毎に、10 万. 15 万. 20 万. 25 万. 30 万、累計 100 万円 →一時金、退職金は無し</p>
勤務	<p>(乗務/勤務時間制限) ・乗務時間: 1 カ月 90 時間、3 カ月 250 時間、年間 960 時間 ・勤務時間: 1 カ月 171 時間、3 カ月 483 時間</p> <p>(連続勤務日数) ・国内線 4 日、但し国際線での現地インターバルにより通算 6 日</p> <p>(1 回の勤務の予定制限) ・国内線「4 着陸、乗務 6 時間、勤務 11 時間」 →但し小型機は「5 着陸、乗務 7 時間、勤務 11 時間」 →編成と着陸回数でスライド →勤務時間が深夜を含む場合、予定制限あり</p> <p>(インターバル)</p>	<p>1 回の勤務は 60 才未満と同じ</p> <p>(月間休日) ライト 18-20 日、ベーシック 14-16 日、アクティブ 11 日</p> <p>(月間勤務時間上限) ライト 110 時間、ベーシック 132 時間、フレックス休日 20 日/月は 120 時間</p> <p>(夏季特別休暇) ライトは無し</p> <p>(有休) 年 20 日、但しライトは 11 日</p> <p>(特別繰越休暇) 初回契約時に最大 42 日を持ち越し可</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本：予定 14 時間以上、最低 12 時間 →編成と勤務開始時間帯により異なる →時差や東向きフライト後には加算あり</li> <li>・スプリット勤務(着陸 2 回)では別のインターバル時間</li> </ul> <p>(休日) 年間 128 日、うち年度毎に 14 日間の長期休日 (夏季特別休暇) 年間 4 日 (有休) 年 20 日、繰越 1 年 (特別繰越休暇) ・有休は特別繰越休暇として最大 120 日を積立可 (特別休暇) ・慶弔など全社一律</p>	<p>運航乗務員に係わる特別繰越休暇は全て持ち越し可</p>
他		<p>(EF) 対象者と点数に制限あり 注：特別優待搭乗(忌引・別居等)は 60 才未満と同じ (航空身体検査) ・60 才以降、3 年以内に合格すれば再雇用の対象に 注：欠勤 1 年で契約解除、退職制度なし →欠勤減額は日割</p>

【ANA乗組】

	60 才未満	再雇用
賃金		
勤務		
他		

【JGS大阪労組】【JGS九州労組】

	60 才未満	再雇用
賃金	<p>(本給)JGS エキスパートと同額 18 歳 10 万 450 円～60 歳 16 万 5440 円 (級職給)号俸：JGS エキスパート同額 ・非役職：73200 円～91050 円 ・班長：95360 円～116360 円 ・係長：121065 円～175785 円</p>	
勤務	<p>JGS グローバルエキスパート・エキスパートと同様 (所定労働時間) ・月平均 165 時間 ・年間：1980 時間 ・普通勤務：08:30-17:15 (7+45) (年間休日) ・標準勤務：110 日/年→段階的に 120 日 ・日勤シフト：105/年 ・夜勤シフト：99/年 (年休)+夏季休暇 3 日 3 カ月後 10 日→5 年以上 20 日 (特定目的積立休暇)有給 30 才から年 5 日まで限度 40 日 (永年勤続休暇)有給 勤続 30 年で 5 日</p>	
その他		

参考 1 【全日空労組(AWU)】引用 230912(12-02).231108(12-10)

	60 才未満	継続雇用制度
賃金	(基本給)	<p>定年延長は 2027 年を目途に検討 ・グローバルスタッフ(GS). エキスパートスタッフ</p>

		<p>(ES)          嘱託料：59才時の本給6割程度以上  <b>(CA職)</b>          退職金の一括減額を廃止          ・シニアエキスパートキャビンアテンダント (SECA)          時間単価：1400円          ・CA地上コース          嘱託料：59才時の本給6割程度以上  <b>(モデル賃金)</b>59才+期待以上の活躍イメージ          ・GS：47万6000円          →基本嘱託料19万4000円(40%)+38080円～95200円          ・ES：37万1000円          →基本嘱託料18万5500円(40%)+37100円～74200円          ・SECA          →時給1400円+30700円～52600円          ・CA地上コース：38万円          →基本嘱託料19万円(40%)+38000円～76000円  <b>(見直し：東京都最低賃金)</b>          嘱託料(月額)          ・フルタイム：18万1800円/月          ・部分就労：10万9100円/月          客室乗務職(基準額調整金)1113円</p>
勤務		<p>シニアエキスパートキャビンアテンダント (SECA)          ・月間勤務14日：みなし所定労働時間122時間          ・月間勤務11日：みなし所定労働時間105時間</p>
他		

参考2【ANAエアポートサービス】

	60才未満	継続雇用制度
賃金	<p>(ベース給)          20才104100円～59才117600円          (職能給)評価B表          ・G1(1号俸)8690円～(51号俸)112900円          ・GE2(1号俸)170000円～(131号俸)244600円          (変則勤務手当)05-07時、19-22時          300円/時</p>	<p>一般職：時間単価1380円/月額213,670円          賞与：年間50万円          ・OSAAP(ANAグループ)の場合          時給1236円×171時間=211,356円</p>
勤務	<p>月平均165時間(年間1980時間)          ・09:00-17:35(7+35)          (年間休日)          ・標準勤務:104日/年→2024年116日(年間労働1971.15時間)          ・日勤シフト：104/年          ・夜勤シフト：104/年          (年休)+季節休暇4日          3カ月後10日→5年以上20日          (特別繰越休暇)有給          年7日まで限度60日          (ステップアップ休暇)有給          勤続10年で2日、20年で3日</p>	<p>・フルタイム：公休120日/年間労働時間1858時間          ・短日就労          →年間公休120日/労働時間1393時間          →年間公休182日/労働時間1394時間          →年間公休218日/労働時間1114時間45分</p>
他		1年契約の更新型、部分就労へに切り替え可 65歳～68歳シニア嘱託制度あり